

噴火の教訓を次世代へ

4市町で初の合同訓練

2000年噴火から10周年を迎え、10月1日、伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町の4市町でつくる有珠山防災会議協議会が、次の噴火に備えた防災訓練を、豊浦町の豊浦ふるさとドームで行いました。

噴火後初の合同防災訓練で、自衛隊、気象台など16機関と各市町の町民ら約300人が参加しました。



車内から人を救出する消防隊員

地震が増加し、火口周辺規制レベルから避難レベルまでになったことを想定して訓練は始まり、伊達市、洞爺湖町、壮瞥町から避難した住民らが、次々にバスで豊浦町に到着しました。交通事故で車両に閉じ込められた人を、消防隊員が車内から救出し、自衛隊のヘリコプターで搬送する本番さながらの訓練や避難者のためのカリーの炊き出しも行われ、関係機関の緊密な連携の重要性を再度確認しました。

訓練終了後、豊浦町の地域交流センターとわにーで、「有珠山2000年噴火10周年記念フォーラム in 豊浦」次期噴火と広域避難を考える」が開催。吉田茂副町長や豊浦町の荒康夫副町長などが、2000年噴火時の



救出した人を搬送する自衛隊

経験から、事前の地区ごとの避難先の指定」や「具体的な避難人数ごとの避難先計画の策定」など、広域避難について、今後の課題を語りました。

北大宇井忠英名誉教授は、想定される有珠山の次期噴火について、山頂での噴火や湖岸での噴火などいくつかの噴火を想定して紹介しました。

地上デジタル放送」相談 説明会開催

～地デジ完全移行 2011年 7月 24日～ 地デジの準備は、お済みですか？お困りごとは、デジサポにご相談ください。

いま、ご覧のアナログ放送は 平成 23年(2011年)7月 24日までに終了し、地上デジタル放送に完全移行します。それまでの間に、地上デジタル放送の受信準備が必要となります。準備にあたり、「地デジを見るには、どうすればよいか？」など、地デジに関することなら、どんなことでも総務省北海道中央テレビ受信者センター（デジサポ道央）が相談に応じています。

次の日程で同センターが主催して、受信相談（無料）及び説明会を開催しますので、お気軽にお越しください。

施設名 (開催場所)	開催日	説 明 会		相 談 コ ー ナ ー		
		会 場	開催時間	会 場	受 付 時 間	
洞爺湖町役場 74-3004	11月 25日 (木)	302会議室	13 30～ 14 30	ロビー	10 00～ 12 00	14 30～ 16 30
洞爺総合支所 82-5111	11月 26日 (金)	大会議室	13 30～ 14 30	ロビー	10 00～ 12 00	14 30～ 16 30

●相談会の問合せは、デジサポ道央
相談グループ ☎ 011-271-3825

●地デジに関することの問合せは、
デジサポ道央 ☎ 011-351-1155

